

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月28日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 0770302263 | | |
| 法人名 | 郡山ケアハートガーデン グループホーム「あさかの郷」 | | |
| 事業所名 | 三菱電機ライフサービス株式会社 | | |
| 所在地 | 郡山市安積町南長久保一丁目85-2 (電話)024-937-3932 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 福島市渡利字七社宮111番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年10月24日 | 評価確定日 | 平成19年11月30日 |

【情報提供票より】(2007年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|-------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成17年1月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 18 人 | 常勤16人, 非常勤 2人, 常勤換算8.6人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|------|--------|--|
| 建物構造 | 木 造り | | |
| | 2階建て | 1~2階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------|-----------|
| 家賃(平均月額) | 54,000 円 | その他の経費(月額) | 円 |
| 敷 金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(10,000 円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 250 円 | 昼食 400 円 |
| | 夕食 | 450 円 | おやつ 100 円 |
| | または1日当たり 1,200 円 | | |

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 5 名 | 女性 13 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 8 名 |
| 要介護3 | 8 名 | 要介護4 | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | |
| 年齢 | 平均 87.5 歳 | 最低 70 歳 | 最高 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------------|
| 協力医療機関名 | 針生ヶ丘病院・岡沼内科・佐藤眼科医院・わたなべ歯科クリニック |
|---------|--------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心部から離れた、本当に閑静な住宅街の中にこのホームはある。管理者を中心にして、職員一人ひとりが地域密着型サービスの意義を理解しており、日常における一つひとつの支援(ケア)はやさしく、ていねいに行われていた。また、利用者の家族はもとより、地域とのつながりや関わり(交流)をととても大切にしており、利用者にとっては自宅を離れつつも安心のできる生活環境となっていた。利用者一人ひとりの命を、そして人生を大切にしているホーム(職員)の姿勢がひしひしと伝わってくるとともに、利用者の生き生きとした表情はとても印象的であった。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善課題であった居室の空間作りについては、利用者が使い慣れた家具を持ち込んだり、部屋に飾りつけ等をして、利用者が安心して過ごせる居室作りがされていた。また、利用者に対する声かけも状況に応じた適切な声かけがされていた。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者や管理者、職員は自己及び外部評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価後は職員会議等で報告、検討し、改善に向けた取り組みを行うとともに、家族や運営推進会議においても報告し、意見や要望を受ける体制ができている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) 2ヵ月に1回ペースで運営推進会議を開催し、利用者はもとより、家族や地域の方、地域包括支援センター職員等、幅広い参加がみられ、ホームのサービスや外部評価の結果等について積極的に意見交換等を行い、ホームの理解やサービスの向上に取り組んでいる。 |
| | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 事業所の相談受付窓口はもとより、外部者の窓口も明確に設け、家族等に説明を行っている。また、家族等の面会時や電話等でも意見等を気軽に話せるような雰囲気作りに努め、そこで出たことは会議等で話し合い、運営に活かす取り組みを積極的に行っている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域とのつながりをとても大切に考えており、町内会に加入し、盆踊りやお祭り等、地域の行事に参加したり、また、ホーム内の行事の際にも地域の方々に参加していただくなど、その交流に積極的に取り組んでいる。 |

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 管理者を始め、全ての職員が地域密着型サービスの意義を理解しており、ホーム開設前より職員間で十分話し合い、地域で安心して暮らせるよう、地域や家族の関わりとその人らしさを大切にしたホーム独自の理念をしっかりとつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は毎日のミーティング等で理念の内容を必ず確認(唱和)し、その共有に努めている。また、理念の具体化についても日々のケアの中で取り組めるよう心掛けている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域とのつながりをとても大切に考えており、町内会に加入し、盆踊りやお祭り等、地域の行事に参加したり、また、ホーム内の行事の際にも地域の方々に参加していただくなど、その交流に積極的に取り組んでいる。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者や管理者、職員は自己及び外部評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価後は職員会議等で報告、検討し、改善に向けた取り組みを行うとともに、家族や運営推進会議においても報告し、意見や要望を受ける体制ができている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2カ月に1回ペースで運営推進会議を開催し、利用者はもとより、家族や地域の方、地域包括支援センター職員等、幅広い参加がみられ、ホームのサービスや外部評価の結果等について積極的に意見交換等を行い、ホームの理解やサービスの向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 6 | 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業者は市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | / | / | / |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>近況報告を含めた定期的なお便りや日常の様子を撮った写真入りのホーム広報紙の送付を始め、家族等の面会時、電話等により、利用者一人ひとりの様々な状況(日々の暮らしぶりや金銭管理等)について随時報告している。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>事業所の相談受付窓口はもとより、外部者の窓口も明確に設け、家族等に説明を行っている。また、家族等の面会時や電話等でも意見等を気軽に話せるような雰囲気作りに努め、そこで出たことは会議等で話し合い、運営に活かす取り組みを積極的に行っている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>通常においては、各ユニットの職員を固定化し、馴染みの関係作りに努めつつ、職員の異動が生じた場合は、新旧職員の引き継ぎを最低でも1ヶ月間以上はかけて行うなど、利用者への影響を最小限とするよう取り組んでいる。</p> | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 5.人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 様々な機関で開催する各種研修会等に、各職員が各々の段階に応じた研修が受けられるようその体制はできており、研修後の報告会も行われている。また、介護リーダー、サブリーダーによる働きながらの実践教育(指導助言)も徹底しておこなわれている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 「福島県グループホーム連絡協議会」に参加しており、他のホームと積極的に交流を図るとともに、各種研修会や情報交換等から得られたことをホームの質の向上に活かす取り組みも積極的に行っている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | | | |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀れを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日常の場面において、一人ひとりの利用者の様々な思いを理解、共感できるよう職員も一緒に行うように心掛けている。また、調理(味付け)や昔ながらの良き慣習(知恵)を教えてもらうなど、共に支え合う関係作りに努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>家族等から得られた情報も含め、日常の様々な生活場面でのコミュニケーションや行動などから、職員の気づきやミーティング等を通じ、利用者一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。</p> | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者本人の日常の状況把握や家族等の面会時に話し合いなどを行いながら、アセスメントやケアカンファレンス等を通じて、本人の意向や家族等の意見を反映した介護計画を全ての職員が関わりながら作成している。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>利用者本人、家族等との話し合いや職員による半年毎のアセスメント、月1回のケアカンファレンス等を通じ、定期的な見直しはもとより、状況の変化による随時の見直しも行われている。</p> | | |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p> | / | / | / |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居以前にかかりつけ医があり、希望された場合はそのまま継続して受診できるようにしている。なお、受診(通院)は原則として家族等に行ってもらっているが、希望があればホーム側でも対応可能である。また、受診時の情報については必ず家族等と共有し話し合える体制もできている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期ケアについては、事業所独自の「意向確認書(同意書)」に基づき、早期より医師からの意見を含め、本人や家族と繰り返し話し合いながら、関係者全員で方針を共有する体制となっている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 食事時やホーム内の様々な支援の場面などから、各職員とも利用者一人ひとりの状況に応じた適切な声かけ、働きかけをしている。また、全ての職員は個人情報保護法を理解しており、個人の記録や書類等の管理が徹底されている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員は利用者一人ひとりのニーズ(希望等)をしっかりと把握しており、入浴や散歩(外出)等、日常のあらゆる場面において個々のペースや気持ちに配慮した支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食材の購入(メニュー)については基本的に宅配サービスを利用しているが、週1~2回は「お好み献立」を設け、利用者の希望に添った食事となっている。また、買い物や準備、調理、片付け等は利用者も交えて行い、食事についても職員と一緒に会話も楽しみながら摂っている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者のその日の体調に配慮しつつ、一人ひとりの希望や状況に応じた入浴支援が行われていた。また、夜間入浴を希望した場合でも対応できる体制となっている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護) | 利用者一人ひとりの生活歴等の把握はしており、裁縫やお花、野菜作り、神棚の水の取り替え、掃除、調理等、各々の気持ちに配慮しつつ能力を活かした取り組みが行われていた。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護) | 基本的には利用者一人ひとりの希望やその日の気持ちに添いながら、散歩や家庭菜園、買い物、外食、ピクニックなど、外出する機会を積極的に設けている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者を始め、各職員ともに鍵を掛けないケアの意味を理解しており、職員の見守りを徹底している。また、万が一利用者が所在不明になった時でも、地域の協力が得られる体制ができている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 利用者と職員一同に、消防署の協力の下、あらゆる災害を想定した訓練を年2～3回実施しており、地域の方々の協力体制もできている。また、全ての職員が救急救命の講習を受講している。なお、非常備蓄食は職員分も含め、3日分確保している。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分のおおよその摂取量は把握しており、栄養バランスについても十分に配慮されている。また、一人ひとりの状態に応じた食形態にも工夫が見られ、安心して食事のできる支援が行われていた。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各共用空間ともに、照明の明るさや話し声、テレビの音量等、特に気になるようなことはなかった。また、季節に応じた花や絵画、写真、利用者と職員共同の作品などがさりげなく飾られているなど居心地のよい落ち着いた空間が作られていた。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室ともに利用者本人の使い慣れた家具や好む小物類を配置したり、飾り付けをしたりと、安心して過ごすことのできる居室作りが行われていた。 | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(別紙1)を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム「あさかの郷」

記入担当者名 仲山 三津子

評価結果に対する事業所の意見

特に無し

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。